

特集 I

新型コロナへの有効性示唆する研究2件が論文化

□ シクロケム

シクロケム（東京都中央区、☎03・62262・

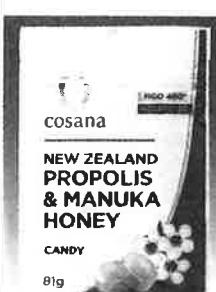
1511）は、ニュージーランド産プロポリスの特有成分であるコヒニ酸フェネチルエスチル（CAPE）を10g当たり30mg以上で規格した「NZCAPE30」を供給している。原料にNZ産プロポリスを100%使用し、採取する場所やカハニーと組み合わせ

季節によって含有量にばらつきのあるCAPEを規格化していることが大きな特徴。通常グレードのほか、マニukaホニーストリン（マ・CD）包

APEの機能性について、これまでの研究で難病である神経線維腫症の進行抑制や神

最近では、新型コロナウイルスに対するCAPEの有効性を示唆する論文が複数発表されたことで大きな注目を集めめた。

国立研究開発法人産業技術総合研究所とインド工科大学デリー校との



た「NZ産プロポリス入りマヌカハニーMGO 400+キャンディ」を販売するほか、今秋にはサプリメントおよびマウススプレーも発売予定だ。

この働きが新型コロナウイルスに対するCAPEの有効性を示唆する論文が複数発表されたことで大きな注目を集めめた。

一方、メルボルン・P.A.K研究センターの丸田浩氏はCAPEの神経線維腫症抑制作用と同じメニズムで新型コロナウイルスを抑制し、潜在的な治療薬として役立つ可能性を指摘している。

共同研究では、CAPEがウイルスのメインプロテアーゼ酵素の活性を阻害し、増殖を抑制する可能性を発見。

この働きが新型コロナウイルスに対するCAPEの有効性を示唆する論文が6月に受理された。年内にもインビートおよびインビトロでの試験を実施するという。

一方、メルボルン・P.A.K研究センターの丸田浩氏はCAPEの神経線維腫症抑制作用と同じメニズムで新型コロナウイルスを抑制し、潜在的な治療薬として役立つ可能性を指摘している。